

展覧会について

京焼・清水焼の絵付け師であった故 河野仁 (1932-2019) の遺作展。

テーマは『初春』。

2024年1月、2月開催。

展覧会コンセプト

年が明け、春が訪れるであろうと心待ちにする気持ちを主軸に企画しています。

会場について

河野仁の工房であった東山区の長屋を改装し、建物の2Fを展示会場としています。

色絵という技法

今回展示されている器は、色絵（過去、上絵と呼ばれていた技法ですが、現在は色絵と呼ばれています）という技法で描かれています。器が出来上がるまでの流れは、素焼きに上薬（釉薬）をかけて、焼いたものに絵付けをするのが色絵付け。色絵付けをした後、窯に入れ、760度程で焼く。（金など金属で絵付けを施した場合には、もう少し低温で焼く）

補足

素焼きについて

土を成形し、窯に入れ、750～950度程で焼いたもの。

色絵の具について

主に「顔料」と呼ばれる鉱物（金属）系の個体粉末と、定着や光沢のために必要なガラス成分が含まれています。

展覧会企画、展覧会のはがきデザイン：たにぐちあゆこ

作品提供、企画サポート：谷口えり子